128

次号予告

薬のチェック
129号は

心不全診療ガイドライン批判

など

事務局だより

★もう一月もすれば新年。なんと一年の早いことか。127号に同封した購読継続の案内では、振込期日を11月20日としていますが、これを過ぎてももちろんお使いいただけます。なお、事務局の年末年始休業は12月26日(土)から2027年1月3日(日)までです。来年も本誌購読をどうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

★今年のノーベル化学賞は、東京理科大学の硤合（そあい）教授が受賞された。自然界には「鏡像異性体」という、右手と左手のように形は同じでも 、重ね合わさらない分子が存在する。人工合成では両型が半々になるが、生命体はなぜか片方しか使わない。硤合教授はこの謎を解く鍵として、片方だけが増殖する「ソアイ反応」を発見された★生体が片方の型しか認識しないため、医薬品でも特定の型のみが強く作用する例が多い。受賞翌日、社内の新入社員研修でこの話題を振ると、知っていた人はごく僅か。情報過多の時代ゆえの「見ている世界のズレ」に戸惑いつつ、「では、鏡像異性体が関わる薬は？」と尋ねてみた★すると即座に返ってきたのは「サリドマイド」。右手型は鎮静・つわり防止の作用をもつ一方、左手型は深刻な催奇形性があり大きな薬害を引き起こしたが、現在は厳格な管理のもと多発性骨髄腫等に使われる。若い世代も大学で大切な知識をしっかり学んでいるのだと安心した。（や）